

謹賀新年

— 年頭のご挨拶 —



市長
櫻田 宏

あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、弘前市総合計画後期基本計画を策定し、「ひとの健康」、「まちの健康」、「みらいの健康」を柱に、市民生活の向上のため、SDGs の理念も踏まえながら「健康都市弘前」の実現へと動き出した年でありました。3年以上に及んだ新型コロナウイルス感染症も5月には5類感染症に移行となり、市民生活をはじめ観光や経済活動も復調の兆しが見えてきたと思っております。

このような中、市では、家計の圧迫につながる子ども医療費の完全無償化を行うとともに、長引く燃料費や物価の高騰対策として、水道料金や下水道使用料の軽減など生活支援を行ったところです。

また、大雨被害を軽減するため、青森県内の自治体では初めてとなる高性能の大容量排水ポンプシステムを導入するなど、安心して住み続けられるまちづくりのために各種施策を推進いたしました。

本年はこれまで実施してきたりんごの販売促進活動と大型ねぶたを活用した観光キャンペーンを連動させ、米なども含めた観光物産振興を図るとともに、宿泊税や歴史的資源を活用した分散型宿泊施設の導入に向けた検討を進めてまいります。

また、市民生活の維持向上のため、本年3月からマイナンバーカードを利用してコンビニエンスストアで住民票等の各種証明書を取得できるサービスを始めるとともに、新寺町の通称加藤坂などで交差点の渋滞対策を進めてまいります。

これからも社会経済の状況やニーズを的確に把握しながら、市民の皆様が元気で長く活躍でき、弘前に暮らしてよかったと実感できるまちづくりに邁進してまいりますので、皆様には更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますことを心からお祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。

議長
尾崎 寿一



新年おめでとうございます。
市民の皆様方にはお健やかに初春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

平素は市議会に対しまして、深いご理解と格別なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、昨年の改選により、議会も新たな顔ぶれとなり、心機一転、市政発展と市民福祉のさらなる向上に努めてまいります。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類に変更となり、社会経済活動の正常化が進んだ一方で、物価高騰の長期化や少子高齢化・人口減少の加速などが、市民生活や事業活動に大きな影響を及ぼしており、さまざまな課題を抱える地方自治体の果たすべき役割はますます大きくなってまいります。

こうした中、市議会としても、多様な市民の意見の集約・反映などを通じて、また、執行機関の監視・評価機関として、地域課題の解決に向けた取組を進めていくことが必要であると考えております。

新しい年を迎えましても、弘前市を魅力あふれる住みやすい街にしていくために、一層の創意工夫と努力を積み重ね、より市民の皆様が開かれた議会を目指して議会改革を推進し、議会としての責務を果たしてまいります。

今年は辰（竜）年です。厳しさが続く経済情勢の中にあっても、登り竜のように力強く飛躍する年になりますよう、議員一丸となって全力で取り組んでまいりますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、この一年が皆様にとりまして健康で幸せ多い年となりますことを心からお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

一年を振り返って

昨年1年間の弘前市の取り組みや出来事を振り返ります。



子ども医療費完全無償化（4月）
弘前市では、市内に住む18歳までの子どもの保険診療にかかる医療費について所得制限を撤廃し、完全無償化しました。



弘前市がSDGs未来都市に選定（5月）
弘前市が県内初の「SDGs未来都市」、北東北初の「自治体SDGsモデル事業」に選定され、SDGs先進自治体として認められました。



ひろさきガイド学校開校（7月）
弘前市を訪れる国内外の旅行者に地域の魅力を案内するガイドを育成し、活動の場を提供する学校を開校。57人が修了しました。



北海道斜里町友好都市交流40周年記念事業「弘前市民号」（7月）
弘前市民号が斜里町を訪問。津軽藩士殉難慰霊祭やしれとこ斜里ねぶたに参加し、親睦を深めました。



緊急排水訓練（8月）
令和4年8月の大雨による浸水被害を受け、市は県内初の移動式大容量排水ポンプシステムを導入。排水作業手順を確認しました。



文化こうりゅう事業 お笑いステージ「TAnGE OMOSHÉ」（9月）
「笑いと健康」がテーマのお笑いライブを開催。笑いによるストレス軽減の実証実験も行いました。

その他の取り組みや出来事

- 2023台湾ランタンフェスティバル in 台北に弘前市が参加（2月）
- 弘南バスが地域連携ICカード「MegoICa（メゴイカ）」の運用を開始（2月）
- 弘前城が史跡指定から70周年（3月）
- 弘前市総合計画後期基本計画を策定（4月）
- JR東日本と連携し「ツガルツナガル」観光キャンペーンを実施（4月～6月）
- 弘前公園の桜が平年より15日早い4月7日に開花し、4月15日からさくらまつり開催（4月）
- 弘前公園の桜守を増員し3人体制に（4月）
- 弘前文化センターリニューアルオープン（4月）
- 市議会議員一般選挙（4月）
- 弘前ねぶた in 神戸・in 今治開催（6月）
- 猛暑の夏、過去最高気温39.3℃を記録（8月）
- LINEを活用した弘前市道路損傷等通報システムの試験運用（8月～11月）
- 映画「バカ塗りの娘」全国公開（9月）
- 募集型企画旅行「りんご農家援農ボランティアツアー」が好評（10月～11月）
- 水道料金・下水道使用料を軽減（10月～12月）
- 台湾の遠東百貨および系列店21店舗でりんごを中心とした弘前市文化物産フェア開催（11月）
- 弘前市・函館市が連携した「ひろはこ」冬の観光キャンペーン開催（12月～）
- 道路除排雪情報メール配信開始（12月）
- 白神山 世界自然遺産登録30周年（12月）
- 健康アプリ「kencom（ケンコム）」導入（12月）